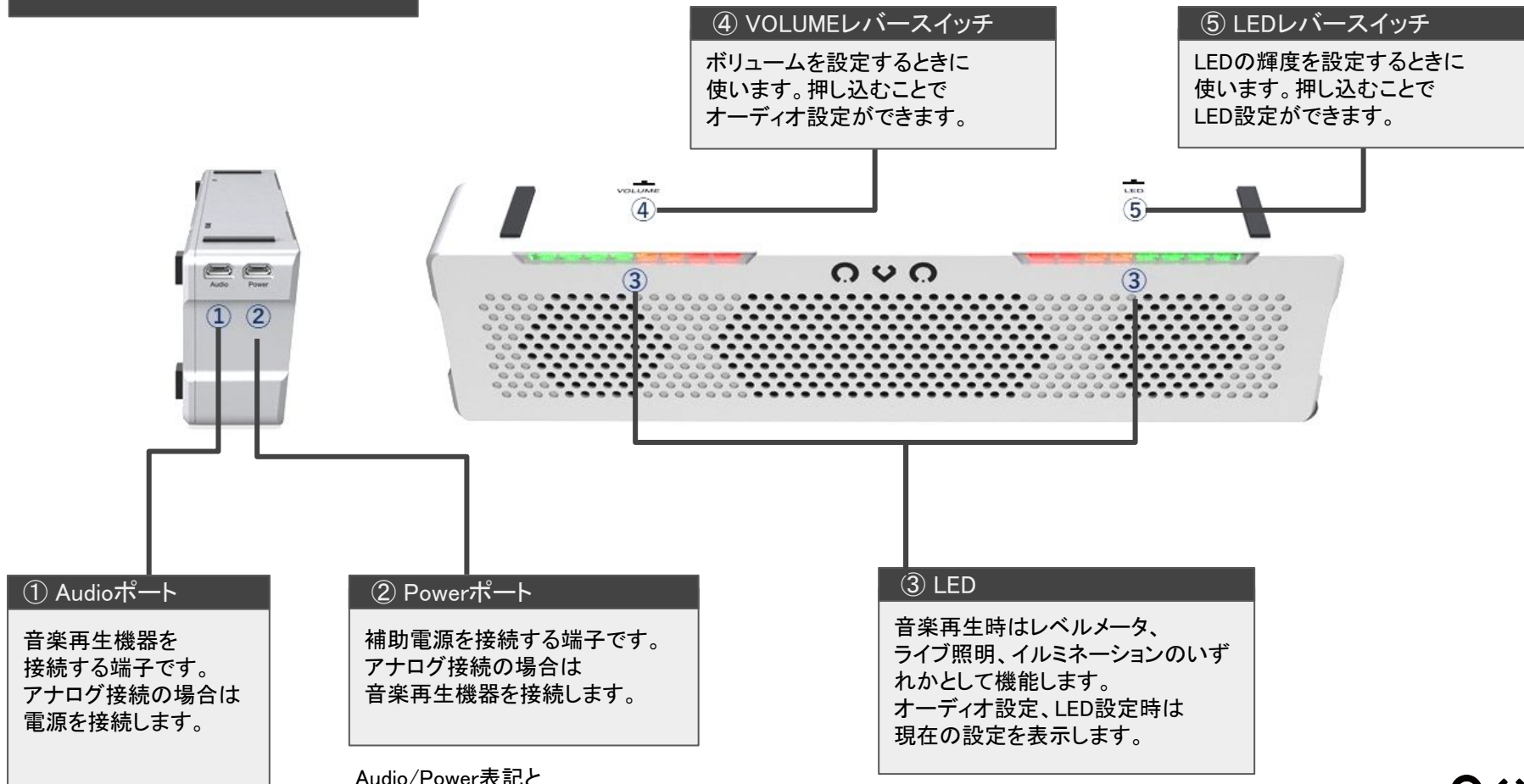




ユーザーマニュアル  
(ファームウェアバージョン12)

1. [各部の名称とはたらき](#)
2. [各種機器との接続](#)
3. [ボリュームとLEDの明るさの設定](#)
4. [設置方法](#)
5. [ガイドシールの貼り方](#)
6. [オーディオ設定](#)
7. [LED設定](#)
8. [本体の更新](#)
9. [ブラウザからOVOを設定](#)
10. [サンプリングレート、ビットデプス変更](#)
11. [ハイレゾモード](#)
12. [LED Live](#)
13. [OVO Pro](#)
14. [デバイスの削除](#)
15. [仕様](#)

## 各部の名称とはたらき



### ④ VOLUMEレバースイッチ

ボリュームを設定するときに  
使います。押し込むことで  
オーディオ設定ができます。

### ⑤ LEDレバースイッチ

LEDの輝度を設定するときに  
使います。押し込むことで  
LED設定ができます。

### ① Audioポート

音楽再生機器を  
接続する端子です。  
アナログ接続の場合は  
電源を接続します。

### ② Powerポート

補助電源を接続する端子です。  
アナログ接続の場合は  
音楽再生機器を接続します。

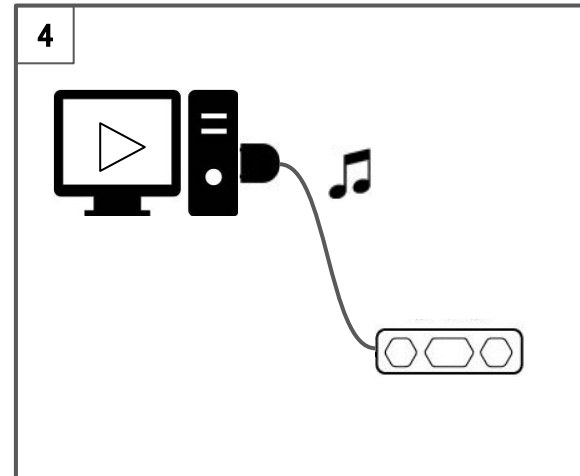
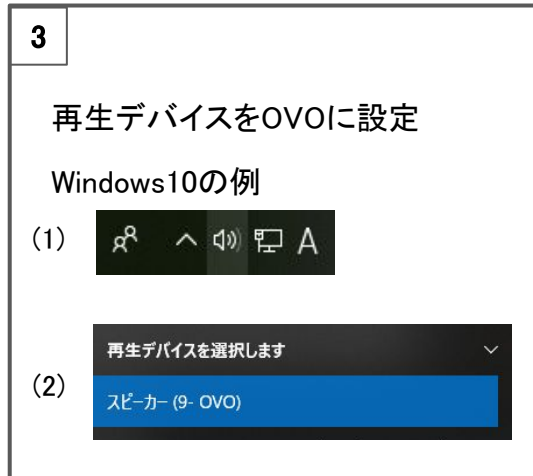
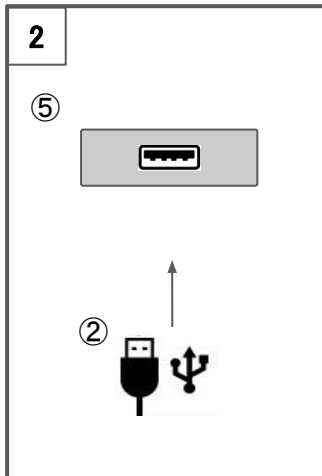
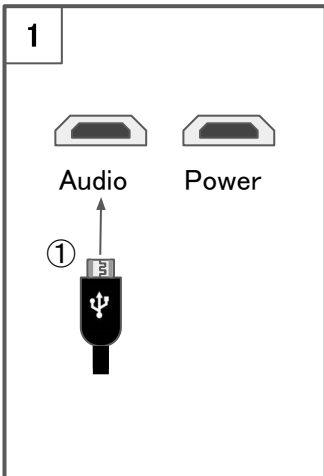
### ③ LED

音楽再生時はレベルメータ、  
ライブ照明、イルミネーションのい  
ずれかとして機能します。  
オーディオ設定、LED設定時は  
現在の設定を表示します。

Audio/Power表記と  
Digital/Analog表記の物があります



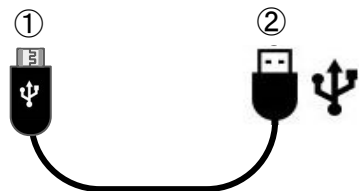
# PC/Mac/Linux/PlayStation 4との接続



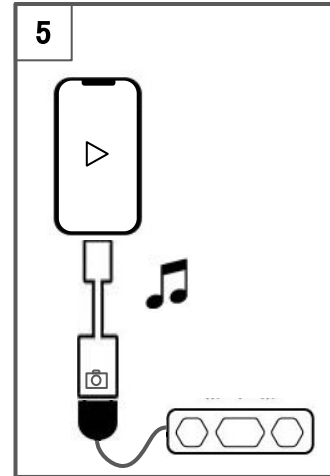
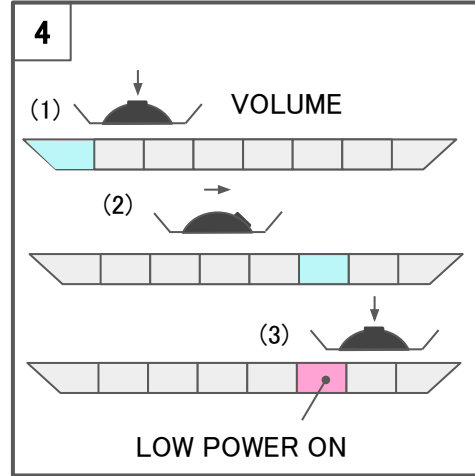
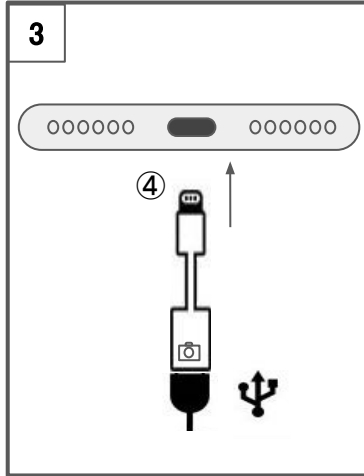
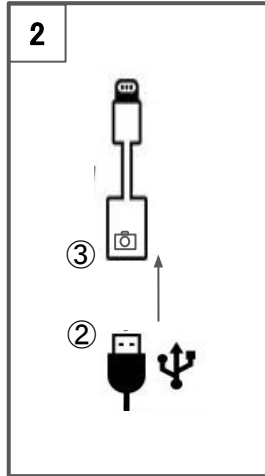
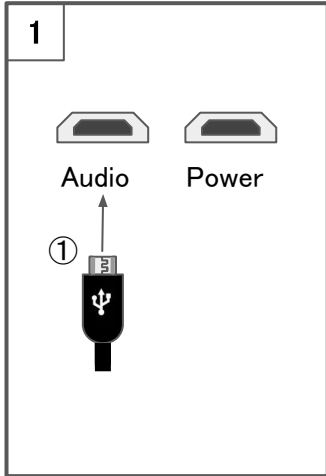
## 必要なもの

USBケーブル(付属)

再生機器

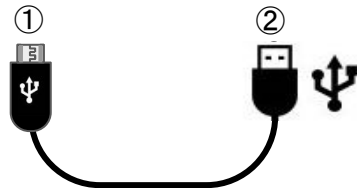


# iPhone,iPad (Lightning仕様) との接続



## 必要なもの

USBケーブル(付属)

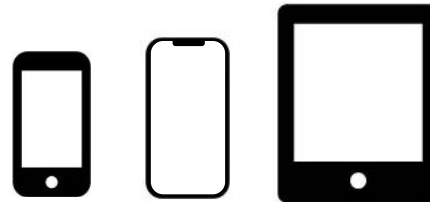


Lightning - USBカメラアダプタ(別売り)

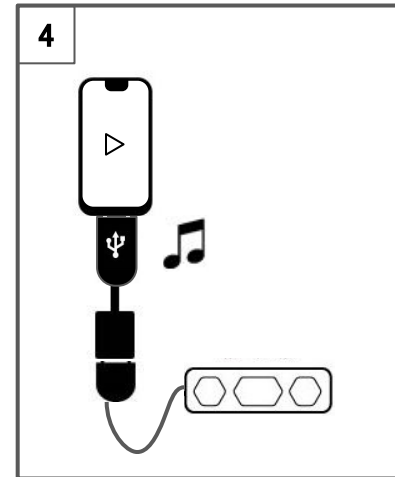
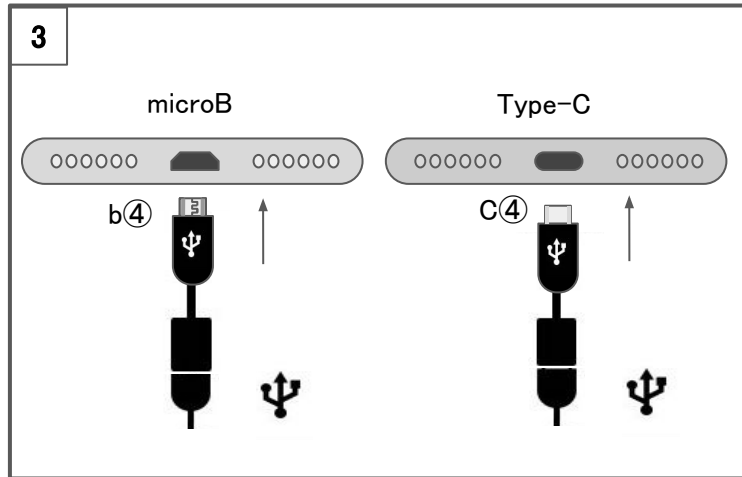
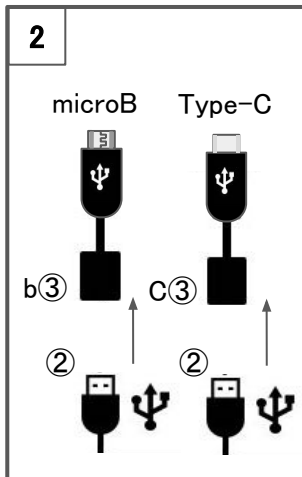
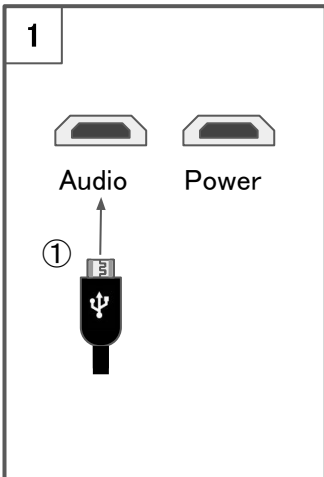


Apple社純正の  
アダプタを使用

iPhone, iPad(低電力モードはOFF)

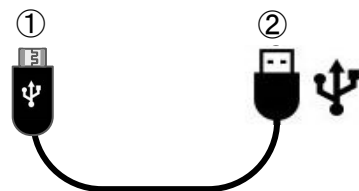


# Androidとの接続

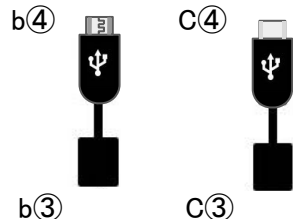


## 必要なもの

USBケーブル(付属)



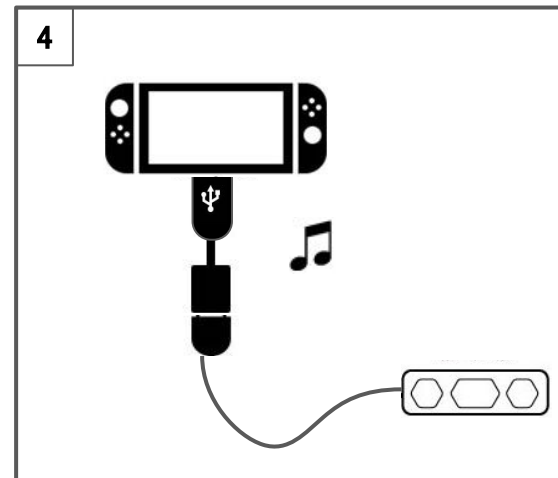
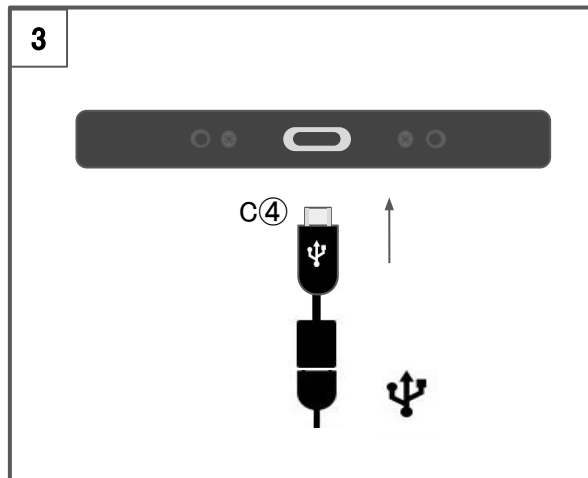
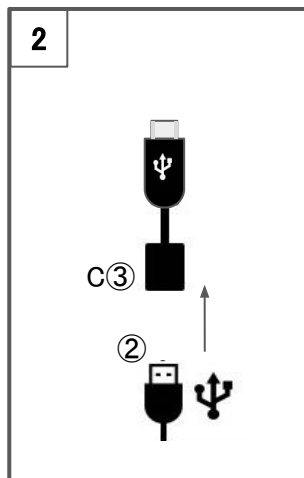
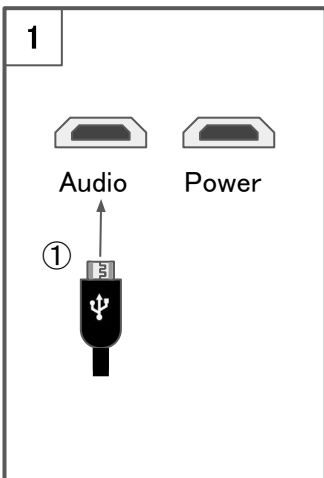
microB - A , Type-C - A アダプタ(別売り)



Android ( Android 5.0 以上)

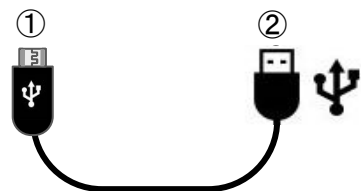


# Nintendo Switchとの接続



## 必要なもの

USBケーブル(付属)



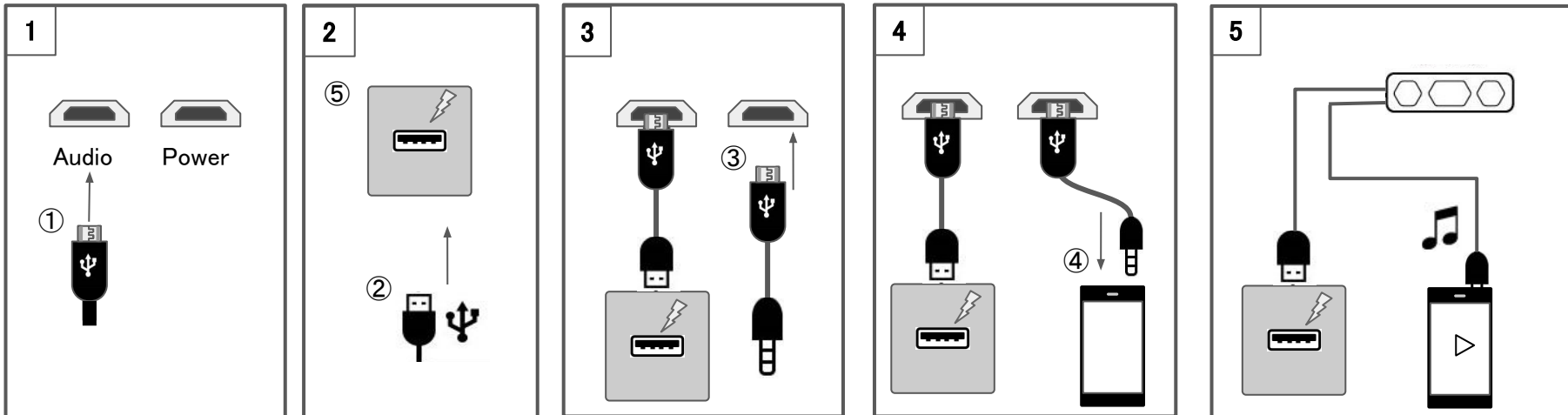
Type-C - A アダプタ(別売り)



Nintendo Switch



# アナログ接続



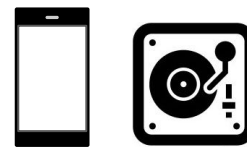
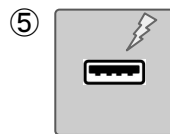
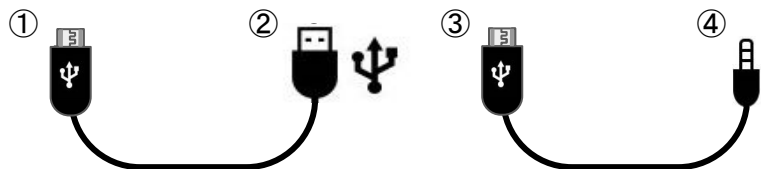
## 必要なもの

USBケーブル(付属)

3.5mm - USBケーブル(付属)

電源

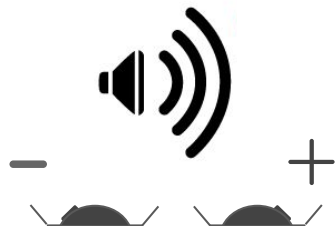
3.5mm 音声出力を持つ機器



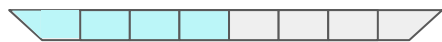


# ボリュームとLEDの明るさの設定

## ボリューム設定



VOLUME



デジタル、アナログ共通

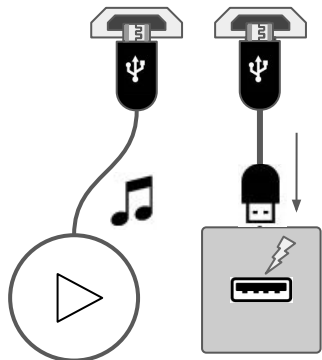


オーディオ設定



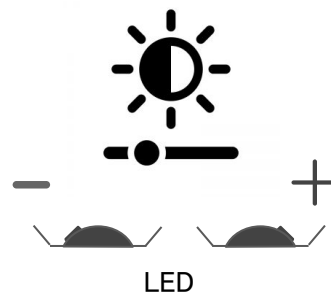
Audio

Power



デジタル接続時のみ

## 明るさ設定



LED



LED設定

## 設置方法

### 平置き

OVOのオススメの置き方はこちら、スピーカー面を上に向けた置き方です。ノートパソコンの前やキーボードとモニターの間などにOVOを置く場合は平置きにして下さい。OVOの下の材質によって音質が変化しますので様々な素材でお試し下さい。



### 縦置き

OVOの音を遠くで聞く場合は縦置きにして下さい。音が遠くまで飛ぶようになります。この置き方の場合左右の音が反転しますのでオーディオ設定でLR SWAPで左右を反転してください。また平置きに比べて低音が響きにくなりますので、BASS BOOST機能を使って適宜調整して下さい。



## ガイドシールの貼り方

オーディオ設定、LED設定の内容を表示するガイドシールが同梱されています。

必要に応じてお使いください。シールは下図のように貼り付けます。

中央にある小さいシールを使うと指紋を付けずにガイドシールを貼り付ける事ができます。

詳細な貼り付け方法は下記動画をご覧ください。

<https://youtu.be/gKLLq9p7JA>



# オーディオ設定

1) 左のレバースイッチを押す



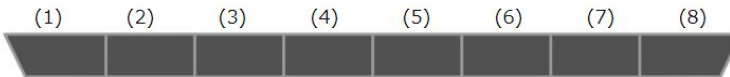
2) 左右で項目を選択、押して変更



3) 右のレバースイッチを倒して終了



(注意) 設定中に5秒間操作せずにいると自動で設定を保存し終了します。



- (1) **LOCAL VOLUME** - 本機でボリュームを制御します。VOLUMEレバースイッチを操作してもボリュームが変わらない場合はこの設定を有効にしてください。OVO内部でボリュームを調整します。PlayStation 4や一部のポータブルオーディオ機器が必要となる機能です。
- (2) **AUTO GAIN** - 出力音量を一定に保ちます。インターネットラジオ等のボイスメディアを視聴する場合にオススメの機能です。突発的な大音量を防ぐ効果もありますので、静かな環境での映画視聴や、お子様ご利用になる場合にも有効な機能です。
- (3) **BASS BOOST** - 低音を強調します(3段階)。OVOを縦置きにした場合は低音の響きが弱まりますのでこの設定で適宜調整してみてください。
- (4) **HIGH BOOST** - 高音を強調します(3段階)。オーディオリスニング用というよりは加齢とともに聞き取りにくくなる音域を持ち上げることを意図した機能です。
- (5) **LR SWAP** - 左右を反転します。また右のみ、左のみの出力を選択します。OVOを縦置きにした場合は左右が反転して出力されますのでこの設定を有効にしてください。(左右反転: ■ L ch MONO: ■ R ch MONO: ■)
- (6) **LOW POWER** - 使用する電流を最小限に抑えます。OVOをiPhoneやiPadと繋いだ際「このアクセサリは消費電流が大き過ぎます」といった警告メッセージが出て切断される場合は、一旦再生機側の音楽再生を止めてからこの設定を有効にしてください。USBから取得する電流を最小限に抑えます。この設定が有効になっている場合は設定メニュー以外でLEDは点灯しませんのでご注意ください。
- (7) **PLAYER CONTROL** - LED側のレバースイッチでPREV / PAUSE or PLAY / NEXTを操作します。この設定が有効になっている場合はLED設定の操作ができませんのでご注意ください。
- (8) **HIGH RESOLUTION** - 192kHz、24-bitのハイRez音源を再生します(Windows 10のみ対応)。USBで高速通信を行うため接続できる機器に制限があります。ハイRezモードの切り替えを行うとOVOが再起動します。



## LED設定

1) 右のレバースイッチを押す

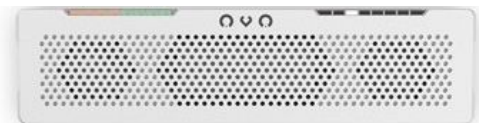


2) 左右で項目を選択、押して変更



3) 左のレバースイッチを倒して終了

取消 ←      → 保存



(注意) 設定中に5秒間操作せずにいると  
自動で設定を保存し終了します。  
LOW POWERがONのとき、LEDは点灯しません



- (1) **STUDIO** - 音量を示すレベルメータです。どのような音楽にも合うスタンダードなイルミネーションです。
- (2) **CLUB** - 周波数解析を使ったライブ照明です。赤で低音、青と緑で高音を表現。ダンスミュージックなどテンポの速い曲を盛り上げます。
- (3) **HOME** - 中央から広がるイルミネーション。SF映画やボイスメディアにオススメです。
- (4) **NATURE** - やわらかい自然色を使ったグラデーションです。ヒーリング系の音楽にぴったりです。
- (5) **RED** - 赤の明るさを3段階で設定します。
- (6) **GREEN** - 緑の明るさを3段階で設定します。
- (7) **BLUE** - 青の明るさを3段階で設定します。
- (8) **COLOR MONITOR** - 設定した色が表示されます。



# 本体の更新

## 1. バージョンの確認

- 1) OVOを起動
- 2) VOLUMEレバースイッチとLEDレバースイッチを同時に押す
- 3) 点灯した緑と青のLEDの数を確認

点灯した緑のLEDの数が1の桁を示し、青のLEDが5の桁を示します。

OVOのウェブサイトよりダウンロードできるファームウェアのバージョンが確認したバージョンより大きい場合、アップデートを行ってください。バージョンが同じ場合、アップデートの必要はありません。

## 2. ファームウェアのダウンロード

OVOのウェブサイト( [https://www.idsound.co.jp/products/ovo/#firmware update](https://www.idsound.co.jp/products/ovo/#firmware_update) )から最新のファームウェアをダウンロードし、「firmware.bin」という名前で保存します。ファイルがダウンロードされたフォルダを確認してください。

(**注意**)ダウンロード先に、firmware.binというファイルが既に存在していた場合、firmware(\*).binとして保存されます。( \*には数字が入ります)また、firmware.binを開く必要はありません。

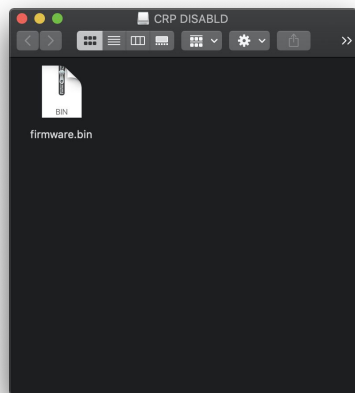
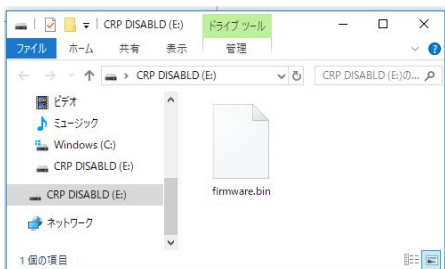


# 本体の更新

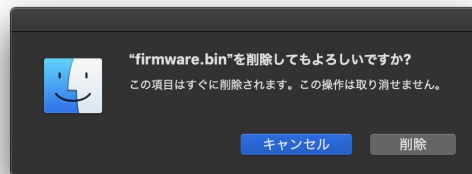
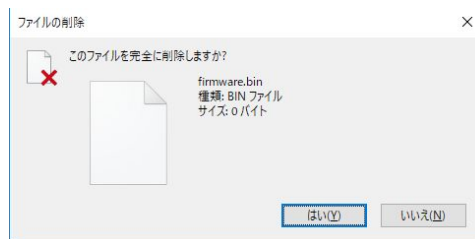
## 3. ファームウェア更新の用意

- 1) WindowsまたはMacのパソコンと付属のUSBケーブルを用意
- 2) 付属のUSBケーブルのA側を用意したパソコンのUSB-Aポートへ接続
- 3) VOLUMEレバースイッチを押しながら、付属のUSBケーブルをAudioポートへ接続
- 4) CRP DISABLDというドライブが認識される
- 5) CRP DISABLD内にあるfirmware.binを削除  
(削除を確認するウィンドウが表示されるので、「はい(Y)」または「削除」を選択)

(4)



(5)



# 本体の更新

## 4. ファームウェアの更新

- 1) firmware.binを保存したフォルダを開く
- 2) firmware.binをCRP DISABLEドドラッグ&ドロップなどでコピー
- 3) WindowsまたはMacからUSBケーブルを一旦取り外して再接続
- 4) 手順1. と同様の方法でバージョンを確認
- 5) 更新されていれば完了

例:バージョン8に更新した場合



(4)で新しいバージョンが確認できていても音が出ない場合、[デバイス削除](#)し再接続してください。  
バージョン9以降ではLEDの表示が以下ようになります。



■ 5の桁



■ 1の桁



## ブラウザからOVOを設定

ブラウザから次の設定を変更できます

- 1) **イコライザ** - 特定の周波数帯域を±12dBの範囲でカットまたはブースト、Qを0.5~5.0の範囲で調整
- 2) **オーディオ設定** - 本体と同様
- 3) **LED設定** - 本体と同様

### 1. ご利用になる前に

- 1) ブラウザからOVOを設定するには本機のファームウェアがバージョン5以上である必要があります。バージョンの確認、更新については [本体の更新](#) を参照ください。
- 2) ブラウザは必ずChromeを使用してください。Web MIDIに対応している必要があります。

### 2. OVOをパソコンに接続

付属のUSBケーブルでOVOをパソコンに接続します。デジタル入力を使用してください。

### 3. OVO設定するページを開く

OVOを設定するページを開きます。( <https://www.idsound.co.jp/products/ovo/config.html> )

本機が接続されている場合、**接続済み**と表示されます。もし接続していても表示されていない場合、

ページをリロードしてください。それでも解決しない場合、

ほかにWeb MIDIを使用しているページがないかお確かめください。



# ブラウザからOVOを設定

## 4. イコライザの設定

- 1) イコライザをONにする
- 2) 各バンドを好みの位置にセットする
- 3) マウスホイールを回してQを調整

「リアルタイムで反映」にチェックがついているときはすぐにOVOへ反映されます。ついていないときは「OVOに反映」をクリックすることで反映されます。

「リセット」を押すとデフォルトの周波数、ゲインに初期化されます。

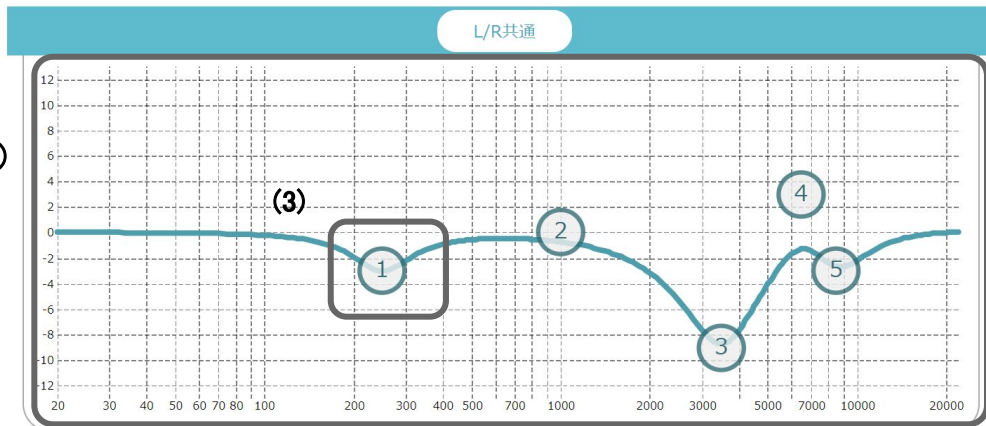
ブラウザで行った設定はOVO内部に保存され、次回使用時にも引き継がれます。

BASS/HIGH BOOSTと同時使用可能です。

### (注意)

192kHz ( 16bit, 24bit ) での再生時とアナログ入力モードの音声には適用されません。

(2)



Band #1	Band #2	Band #3	Band #4	Band #5
-3.0 dB	0.0 dB	-9.0 dB	3.0 dB	-3.0 dB
250 Hz	1000 Hz	3500 Hz	6500 Hz	8500 Hz
1.0 (Q)	1.0 (Q)	1.0 (Q)	1.0 (Q)	1.0 (Q)
<input type="button" value="リセット"/>	<input type="button" value="リセット"/>	<input type="button" value="リセット"/>	<input type="button" value="リセット"/>	<input type="button" value="リセット"/>

(1)  ON

リアルタイムで反映



# ブラウザからOVOを設定

## 5. EQシェアリング

EQシェアリングを使用することで作成したEQ設定をSNSなどで共有できます。

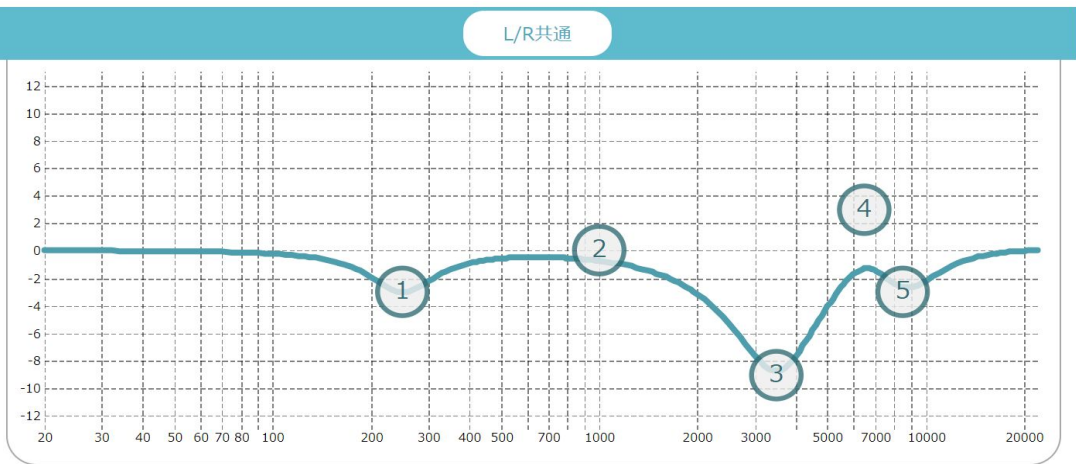
使用するには、

- 1) 「EQ設定を共有」をクリック
- 2) SNSなどでシェア

作成したリンクをブラウザのブックマークに登録するとお気に入りの設定を保存できます。

### (注意)

リンクからEQ設定を読み込む場合、「リアルタイムで反映」はオフになります。リンクを読み込んだ後、「OVOに反映」をクリックしてください。



Band #1	Band #2	Band #3	Band #4	Band #5
-3.0 dB	0.0 dB	-9.0 dB	3.0 dB	-3.0 dB
250 Hz	1000 Hz	3500 Hz	6500 Hz	8500 Hz
1.0 (Q)	1.0 (Q)	1.0 (Q)	1.0 (Q)	1.0 (Q)
<input type="button" value="リセット"/>	<input type="button" value="リセット"/>	<input type="button" value="リセット"/>	<input type="button" value="リセット"/>	<input type="button" value="リセット"/>

(1)

リアルタイムで反映  ON

[http://ovo.jdsound.co.jp/config.html?ovo\\_eq=1&f0=250&g0=-3&q0=1&f1=1000&g1=0&q1=1&f2=3500&g2=-9&q2=1&f3=6500&g3=3&q3=1&f4=8500&g4=-3&q4=1](http://ovo.jdsound.co.jp/config.html?ovo_eq=1&f0=250&g0=-3&q0=1&f1=1000&g1=0&q1=1&f2=3500&g2=-9&q2=1&f3=6500&g3=3&q3=1&f4=8500&g4=-3&q4=1)

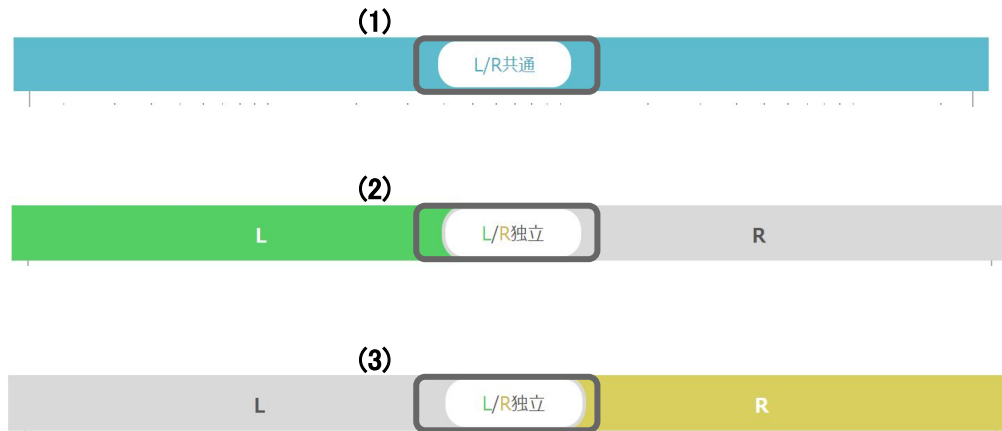


## ブラウザからOVOを設定

### 6. L/R別EQ機能

L/Rそれぞれのチャンネルに対しイコライジングができます  
使用するには、

- 1) 「L/R共通」をクリックしてL/R独立モードにする
- 2) L側のEQを設定
- 3) R側のEQを設定

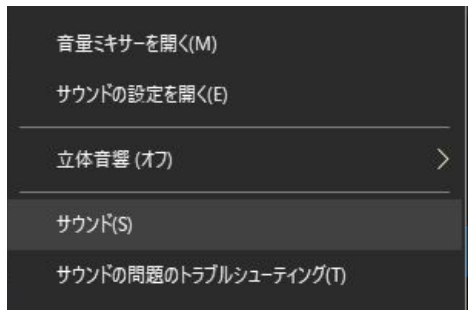


# サンプリングレート、ビットデプス変更

## Windowsでの設定方法

- 1) OVOとPCを接続する
- 2) タスクバーの右下にある、**スピーカー** のアイコンを右クリックし **サウンド** を選択
- 3) **再生タブ** から、OVOを右クリックし **プロパティ** を開く
- 4) プロパティの **詳細タブ** でサンプリングレート、ビットデプスを変更

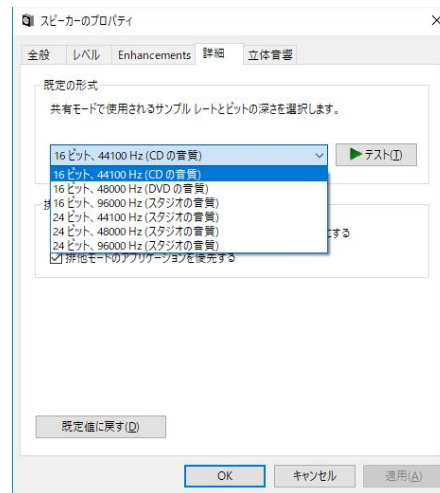
(2)



(3)



(4)



## サンプリングレート、ビットデプス確認

OVOからサンプリングレート、ビットデプスを確認するには、  
AudioレバースイッチとLEDレバースイッチを同時に2回押します。

Audio側のLEDがサンプリングレート、LED側がビットデプスに対応し、それぞれ以下のように表示されます。

サンプリングレート、ビットデプスを変更する方法は、[Windows](#)、[Mac](#)をそれぞれ参照してください。

44.1kHz



48kHz



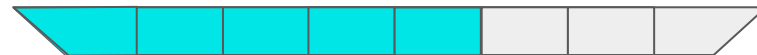
88.2kHz



96kHz



192kHz



16bit



24bit



# サンプリングレート、ビットデプス変更

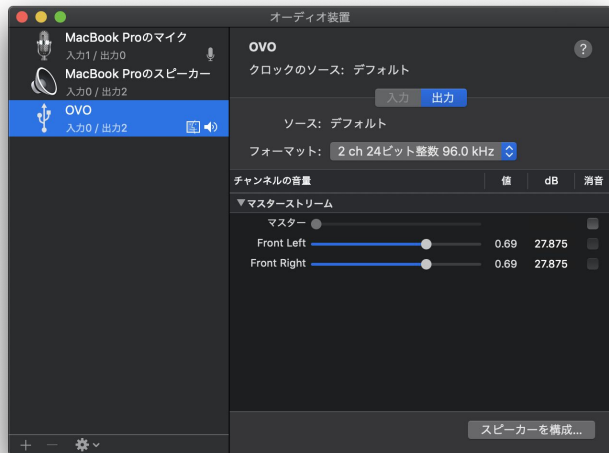
## Macでの設定方法

- 1) OVOとMacを接続する
- 2) **Audio MIDI設定** を開く
- 3) オーディオ装置よりOVOを選択
- 4) **フォーマット** の項目からサンプリングレート、ビットデプスを変更

(2)



(3)



(4)



## ハイレゾモード

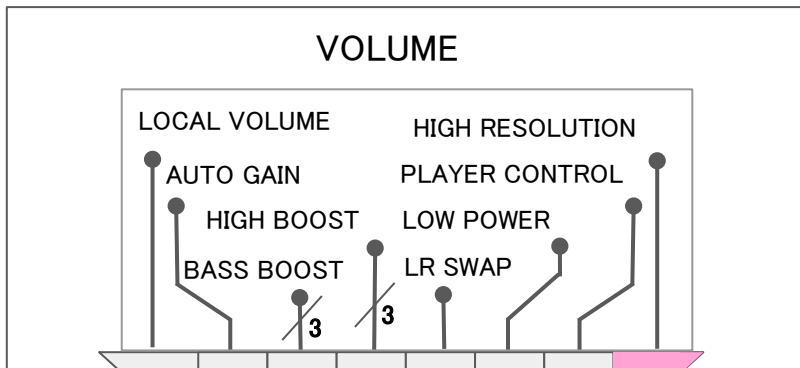
192kHz, 24-bitのファイルのリサンプリング無しで再生するためにはHIGH RESOLUTIONを有効にします。

ハイレゾモードの切り替えを行うとOVOが再起動します。

その後PCから[サンプリングレート、ビットデプスを変更](#)してください。

### (注意)

- ・Windows10のみに対応
- ・AutoGain、モノラルモードは無効
- ・EQは無効(BASS, HIGH BOOSTは有効)





# LED Live

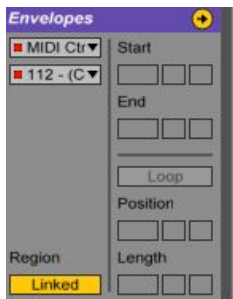
OVOへMIDIノートを送ることでLEDを点灯させることができます。

## 使用方法

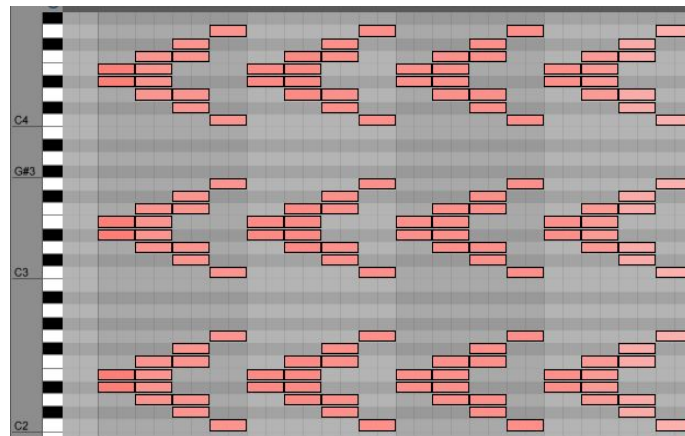
- 1) OVOとPCをデジタル接続する
- 2) MIDIを送るアプリを立ち上げる
- 3) CC112に127を送りLED Liveモードへ入る
- 4) MIDIノートを送りLEDを点灯させる
- 5) 終了するときはCC112に0を送る

(注意) LED Liveモードでは通常のイルミネーションは点灯しません

(3)



(4)



# LED Live - MIDIノート対応表

- ・赤、緑、青を混ぜて色を作成できます。
- ・ペロシティが明るさに対応しています。



音名	ノート	LED	音名	ノート	LED	音名	ノート	LED	音名	ノート	LED	音名	ノート	LED	音名	ノート	LED
C0	24	L-LED1	C1	36	R-LED1	C2	48	L-LED1	C3	60	R-LED1	C4	72	L-LED1	C5	84	R-LED1
C#0	25	L-LED2	C#1	37	R-LED2	C#2	49	L-LED2	C#3	61	R-LED2	C#4	73	L-LED2	C#5	85	R-LED2
D0	26	L-LED3	D1	38	R-LED3	D2	50	L-LED3	D3	62	R-LED3	D4	74	L-LED3	D5	86	R-LED3
D#0	27	L-LED4	D#1	39	R-LED4	D#2	51	L-LED4	D#3	63	R-LED4	D#4	75	L-LED4	D#5	87	R-LED4
E0	28	L-LED5	E1	40	R-LED5	E2	52	L-LED5	E3	64	R-LED5	E4	76	L-LED5	E5	88	R-LED5
F0	29	L-LED6	F1	41	R-LED6	F2	53	L-LED6	F3	65	R-LED6	F4	77	L-LED6	F5	89	R-LED6
G0	30	L-LED7	G1	42	R-LED7	G2	54	L-LED7	G3	66	R-LED7	G4	78	L-LED7	G5	90	R-LED7
G#0	31	L-LED8	G#1	43	R-LED8	G#2	55	L-LED8	G#3	67	R-LED8	G#4	79	L-LED8	G#5	91	R-LED8



**Proモードについて** - ライセンスをご購入いただき、適用することでProモードになります。  
Proモードでは、起動時に専用のイルミネーションが点灯します。  
現在のProモードにはUSBメモリ再生機能がついており、今後も新たな機能が追加されます。

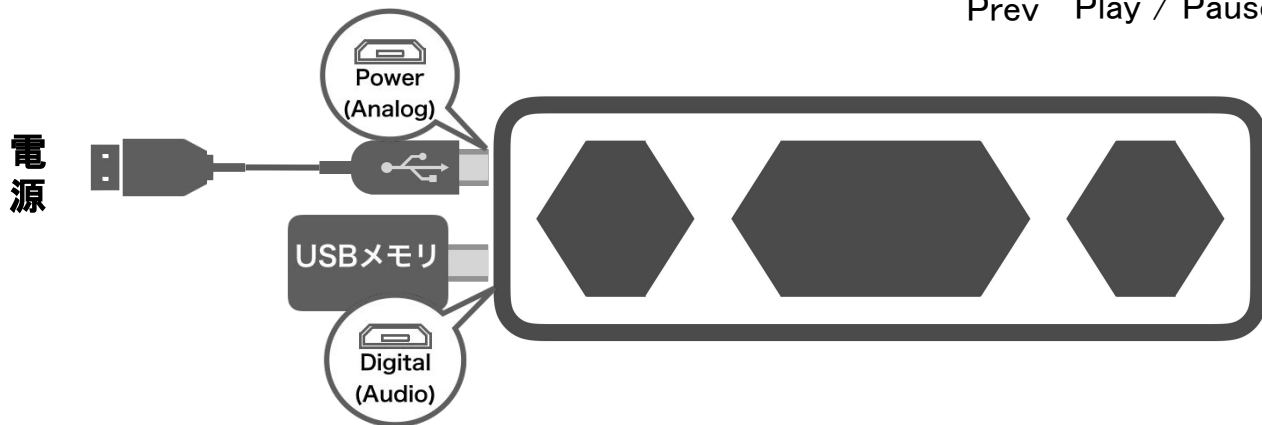
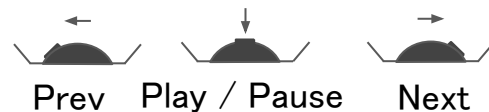
### USBメモリ再生機能

- wavファイルの再生 ( PCM 44.1k/48k/88.2k/96kの16bit/24bit 2ch )
- 最大288曲のプレイリスト
- LOOP、AUTOPLAY、SHUFFLE、RESUMEの設定

## wavファイルの再生方法

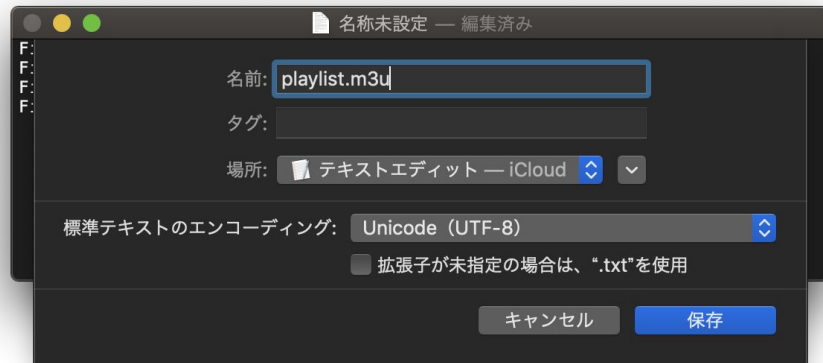
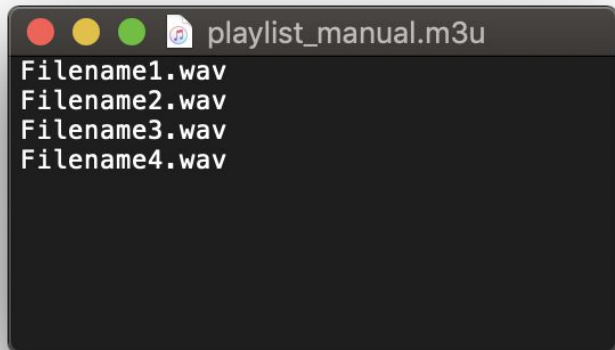
1. wavファイルをUSBメモリのルートディレクトリへ保存する
2. Digital (Audio) ポートにUSBメモリを挿入する
3. Power / Analog ポートに電源を供給する
4. 自動で再生開始

プレイヤーコントロールを有効にするとLED側レバースイッチでPREV / PAUSE or PLAY / NEXTを操作できます。



## プレイリストの作成

1. テキストエディタでwavファイルを次のように記述する
2. 拡張子をm3u、エンコーディングはUTF-8で保存する
3. USBメモリのルートディレクトリへ追加する



### 設定の変更

USBメモリ再生機能では、LOOP、AUTOPLAY、SHUFFLE、RESUMEを設定することができ、これらの設定はsetting.txtというファイルに保存されます。設定項目は次の通りで、デフォルトではLOOP = ALL、AUTOPLAY = ON、SHUFFLE = OFF、RESUME = ONとなっています。変更するにはUSBメモリ内にあるsetting.txtを編集します。

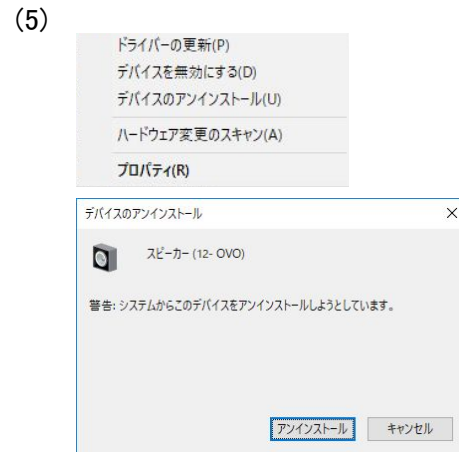
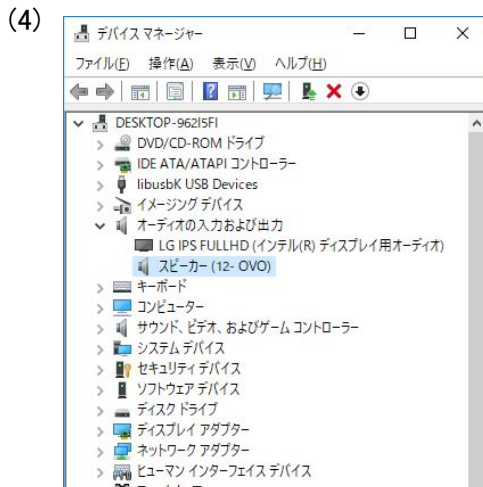
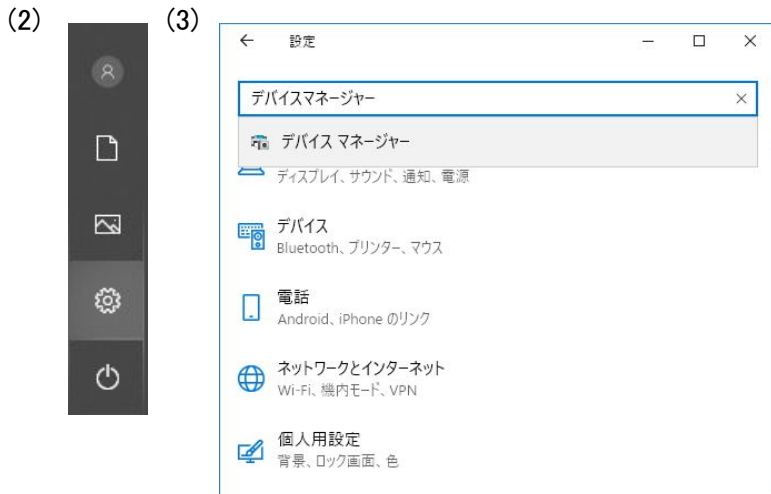
LOOP = ALL	OFF, ONE, ALL	ループしない、1曲ループ、全曲ループ
AUTOPLAY = ON	OFF, ON	ONならば起動時に自動再生
SHUFFLE = OFF	OFF, ON	ONならばシャッフル再生
RESUME = ON	OFF, ON	ONならば前回終了時に再生していた曲から再生

# デバイスの削除

OVOとの接続がうまくいかない場合、デバイスの削除をお試しください。

## Windows10

- 1) OVOとPCを接続する
- 2) タスクバーの左下の **Windowsボタン** よりスタートメニューを出して **設定** をクリック
- 3) 設定の検索に **デバイスマネージャー** と入力し、検索バーの下に出てきた**デバイスマネージャー**をクリック
- 4) **オーディオの入力および出力** をダブルクリックして展開し、**スピーカー(OVO)**を右クリック
- 5) **デバイスのアンインストール**を選択して削除  
(アンインストールを確認するウィンドウが出てくるので **アンインストール** を選択する)



# デバイスの削除

## Windows7

- 1) OVOとPCを接続する
- 2) タスクバーの左下の **Windowsボタン** をクリック
- 3) 検索ボックスに **デバイスマネージャー**と入力し、検索結果から**デバイスマネージャー**をクリック
- 4) **サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー**をダブルクリックして展開し、**スピーカー(OVO)**を右クリック
- 5) メニューから **削除** を選択する  
(アンインストールを確認するウィンドウが出てくるので **OK** を選択する)

(2)



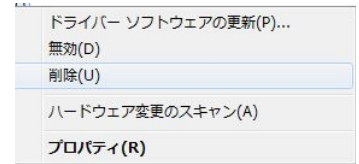
(3)



(4)



(5)





## 仕様

本体寸法	24cm × 6cm × 3.5cm (手前側3.5cm)
本体重量	約400g
形式/ユニット構成	Passive Radiator type / 4cm Multi-Coil Speaker Stereo type
入力端子	デジタル入力用 microB端子、アナログ入力用 microB端子
定格インピーダンス	4Ω ± 0.8Ω at 1Vrms 600Hz
出力音圧レベル	77dB ± 2dB (W/m) 300,400,500,600 Hz平均
再生可能周波数	150Hz - 20KHz
消費電力	0.5W(ローパワーモード) / 2.5W(ノーマルモード) / 5.0W(ハイパワーモード)
対応機種	Windows, Mac, iPhone, iPad, Android, Linux, PlayStation®4, Nintendo®Switch 他
保証期間	1年間

